

たとえリセットされても

「たとえリセットしても」

5年 S・Uさん

「たとえリセットされても、友だちだよ。」柚果のような前向きな言葉をほくは愛に言えるだろうか。転校ではなくリセット。相手がA Iだと突きつけられる言葉だ。リセットされてもという言葉も、強制的な力を感じ、ズシンと重た気持ちになる。

愛はお母さんの心の病気を治すための医療用人間型A Iロボットだから、その存在理由自体が異質だ。ほくも、家族の存在が励みになることはあるけれど、最も大切になっているのは自分自身であり自分の意思だ。だけど愛は、見た目は人間そのもののなのに、意思を持ち自分の人生を生きてくことはしない。ほくはそれがどうしても気の毒に思えて仕方ない。

こんなふうに感情がわきあがってA Iだからといって簡単に切り捨てられないのが人間だ。現に柚果たちも、A Iだとしても愛は大事な友人だと思う一心で無茶な行動を起こす。時にA Iが選ばない選択肢を感情のまま選ぶのが人間で、そのせいで事態が悪化することもある。だけど、人間にはA Iが予測できなかった思わぬ方向に未来を動かしていくたくましさがある。その原動力は、感情でそれはA Iにはない。人手不足が社会問題になる中、A Iの力は心強い。だけど、やっぱりほくは人間型A Iが隣にいるような未来は嫌だ。

ほくは今、ほくと考えが異なる学校の先生との関係に悩んでいる。だけどその先生がいっそA Iだったら楽なのには思わない。どうしたら、うまく自分の思いを伝えられるのか。互いを尊重しながら分かり合えるのか。今のほくは、その言葉も方法も分からない。だけど、この湧き上がってくる、知りたい、分かり合いたいという気持ちを燃やし続けたいという強い意思はある。今はあらゆることを知らないけれど、この強い思いがあれば、どんな未来が待ち受けていても、きっと大丈夫、そう思える。もし上手くいかなかったらその時は、たとえリセットしても、何度でもやり直せばいいのだから。